

5. 生涯学習情報の入手の実態とニーズ

(1) 生涯学習情報の入手の実態

1) 生涯学習情報の入手経験

回答者が、大津市内で提供されている各種の「生涯学習」の機会やサービスについて、どの程度情報を得ているのかをみたのが、図 29 である。

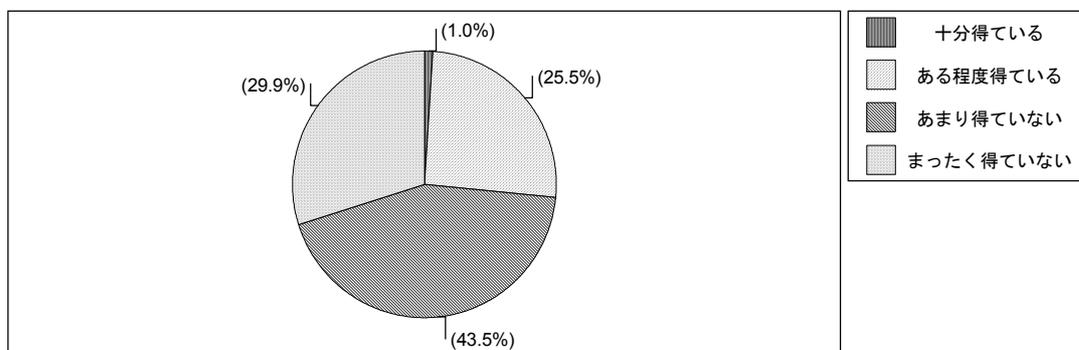


図 29 生涯学習情報の入手経験

その結果、生涯学習情報を「十分に得ている」と回答した人の率は 1.0%、「ある程度得ている」人の率を合わせると、26.5%の人が生涯学習を「得ている」と回答していた。

これを性別にみたのが、図 30 である。

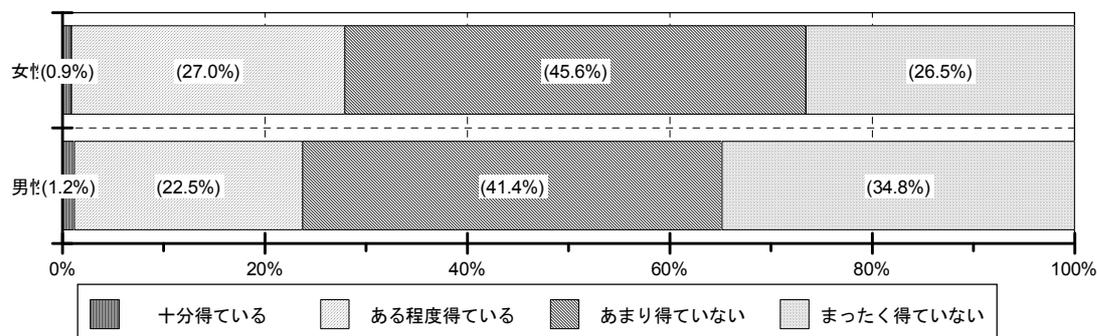


図 30 性別にみた生涯学習情報の入手経験

その結果、生涯学習情報を「得ている」と回答した人の率は、「女性」で 27.9%、「男性」で 23.7% であり、男女間に明確な差は認められなかった。

次に、年代別にみたのが、図 31 である。

その結果、生涯学習情報を「得ている」と回答した人の率は、「成人前期」の人で 9.4%、「成人中期」の人で 22.4%、「成人後期」の人で 38.9% であり、その率は、年代が高くなるにつれて高まる傾向が認められた。

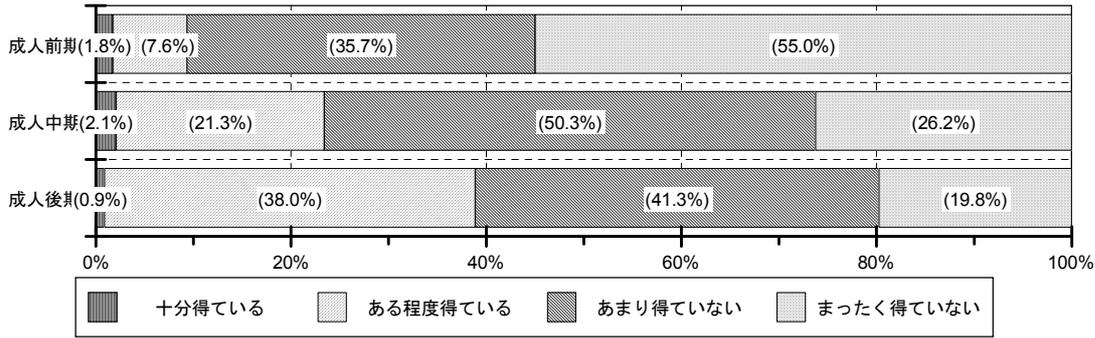


図 31 年代別にみた生涯学習情報の入手経験

2) 生涯学習情報の入手方法

生涯学習情報の入手方法をみたのが、図 32 である。

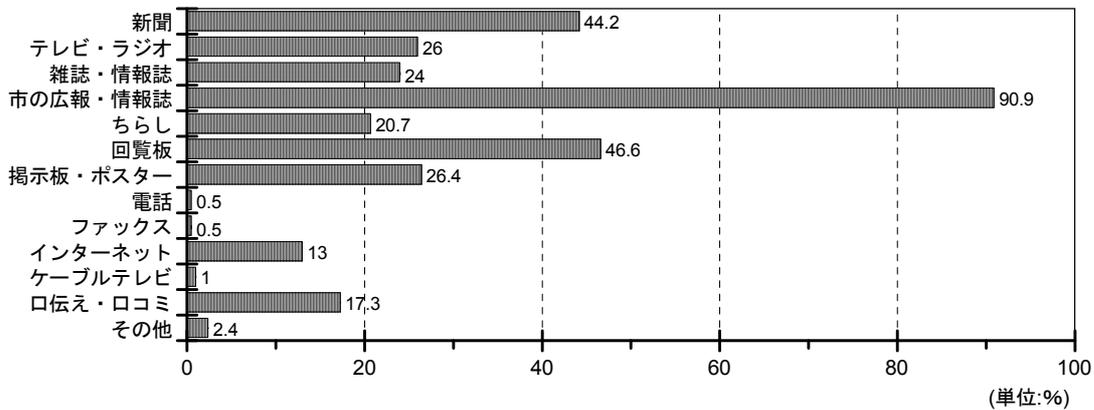


図 32 生涯学習情報の入手方法

その結果、入手方法としては、「市の広報・情報誌」をあげた人の率が 90.9%でもっとも高く、次いで「回覧板(46.6%)」、「新聞(44.2%)」の順となっていた。

これを性別にみたのが、図 33 である。

その結果、男女とも「市の広報・情報誌」をあげた人の率をもっとも高いことは共通していたが、次いで「女性」では「回覧板」、「新聞」の順、「男性」では「新聞」、「回覧板」の順となっていた。

相対的にみると、「市の広報・情報誌」、「回覧板」、「口伝え・口コミ」では「女性」の、「新聞」、「雑誌・情報誌」、「ちらし」では「男性」の率が高くなっていた。

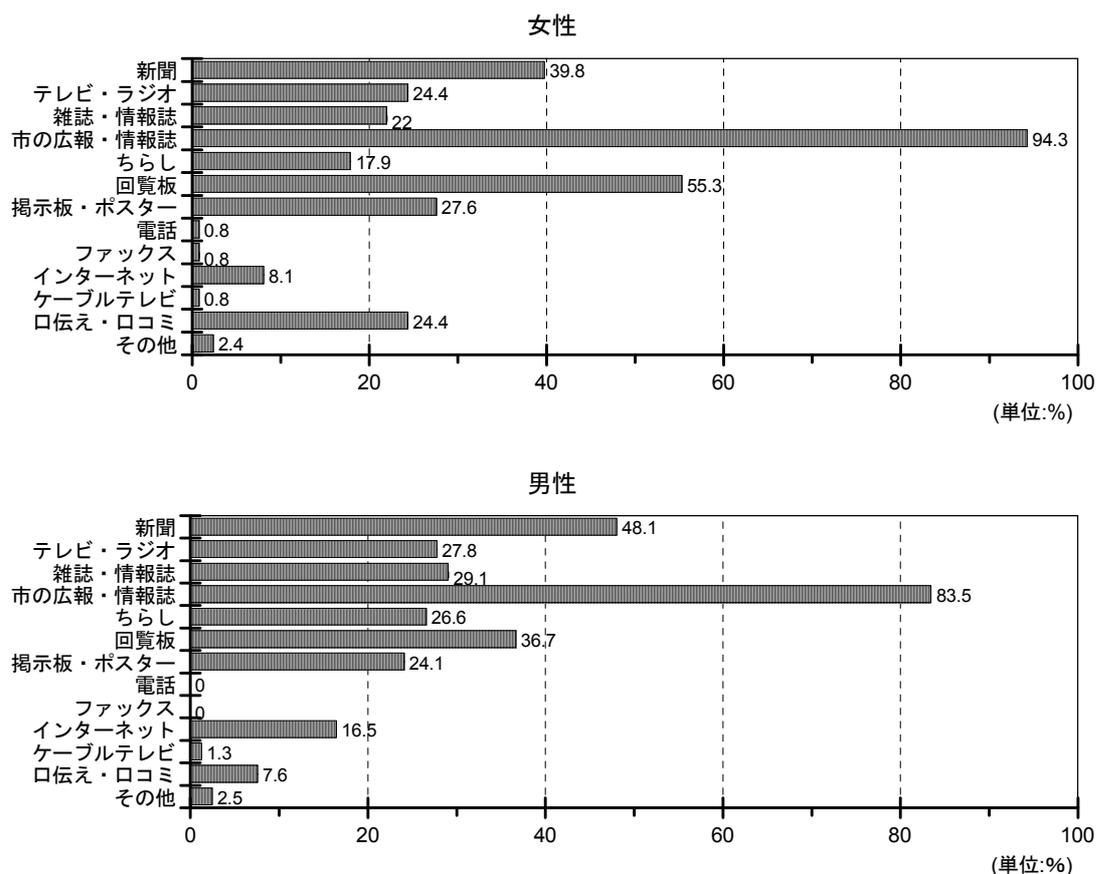


図 33 性別にみた生涯学習情報の入手方法

次に年代別にみたのが、図 34 である。

その結果、どの年代でも「市の広報・情報誌」をあげた人の率が高いのは共通していたが、次いで「成人前期」の人では「ちらし」、「雑誌・情報誌」と「回覧板」と「掲示板・ポスター」の順、「成人中期」の人では「回覧板」、「新聞」の順、「成人後期」の人では「新聞」、「回覧板」の順となっていた。

相対的にみると、「ちらし」では「成人前期」の人の、「掲示板・ポスター」では「成人前・中期」の人の、「雑誌・情報誌」では「成人前・後期」の人の、「回覧板」では「成人中・後期」の人の、「新聞」、「テレビ・ラジオ」、「口伝え・ロコミ」では「成人後期」の人の率が高くなっていた。

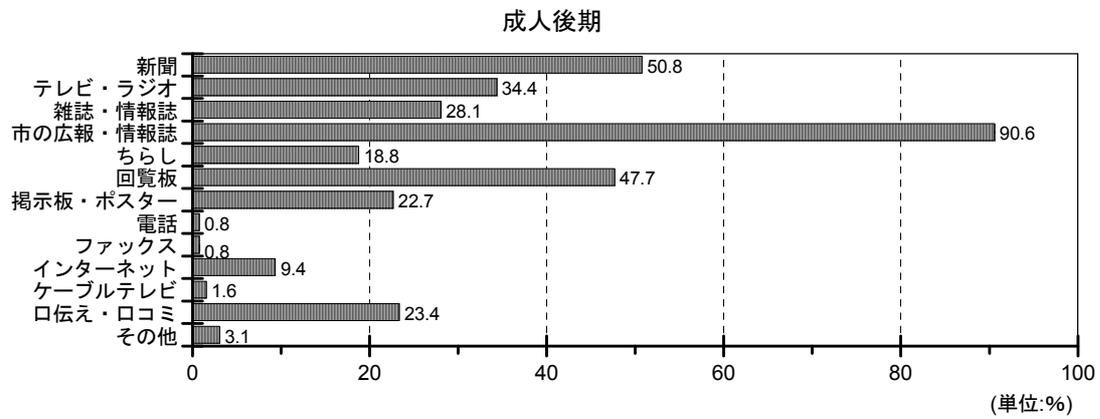
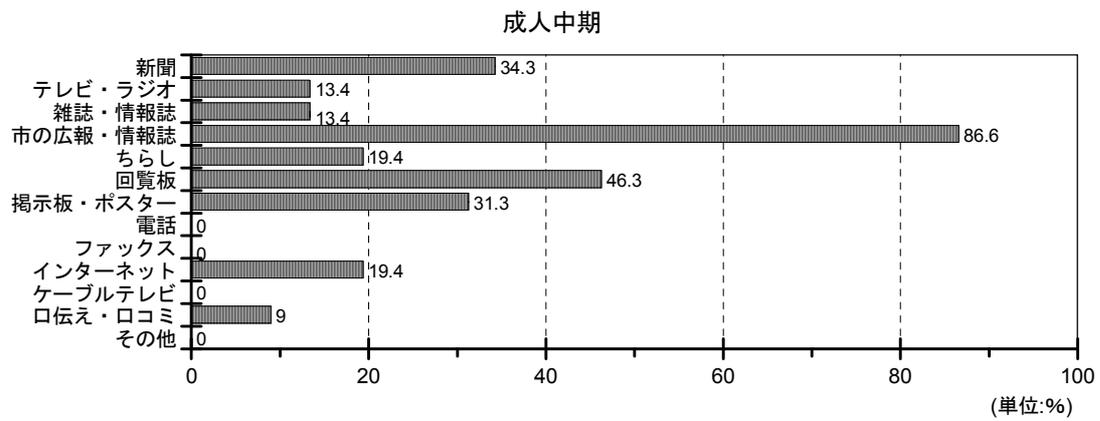
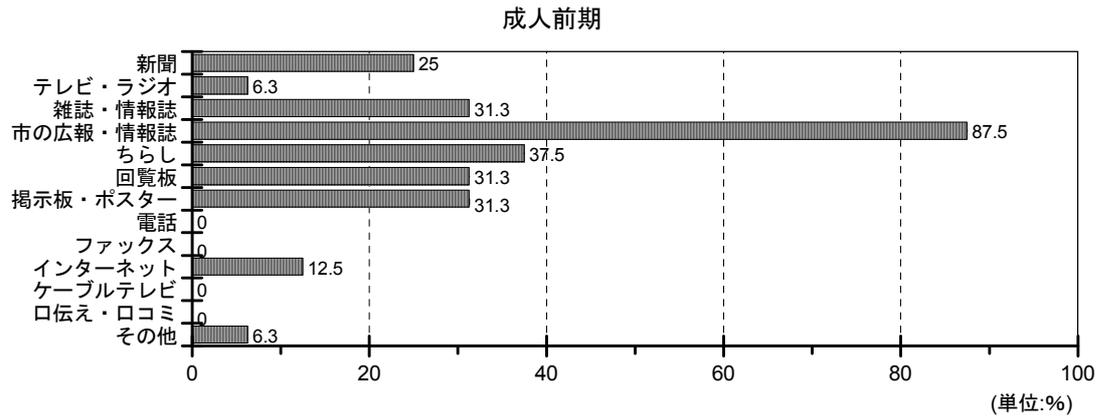


図 34 年代別にみた生涯学習情報の入手方法

(2) 生涯学習情報の入手のニーズ

1) 生涯学習情報の入手方法のニーズ

生涯学習情報の入手方法のニーズをみたのが、図 35 である。

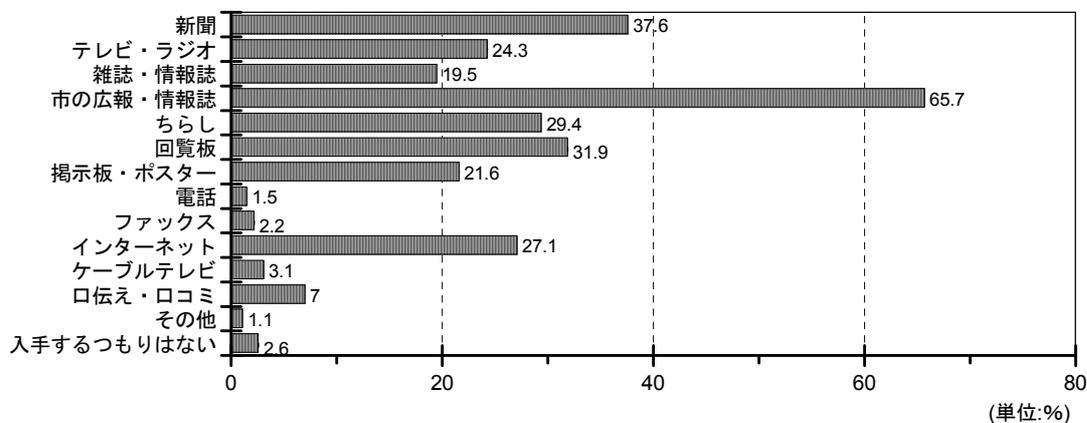


図 35 生涯学習情報の入手方法のニーズ

その結果、入手方法のニーズとしては、「市の広報・情報誌」をあげた人の率が 65.7%でもっとも高く、次いで「新聞(37.6%)」、「回覧板(31.9%)」の順となっていた。

これを性別にみたのが、図 36 である。

その結果、男女とも「市の広報・情報誌」をあげた人の率が高かったことは共通していたが、次いで「女性」では「回覧板」、「新聞」と「ちらし」の順、「男性」では「新聞」、「インターネット」の順となっていた。

相対的にみると、「市の広報・情報誌」、「ちらし」、「回覧板」、「掲示板・ポスター」、「口伝え・口コミ」では「女性」の、「新聞」と「インターネット」では「男性」の率が高くなっていた。

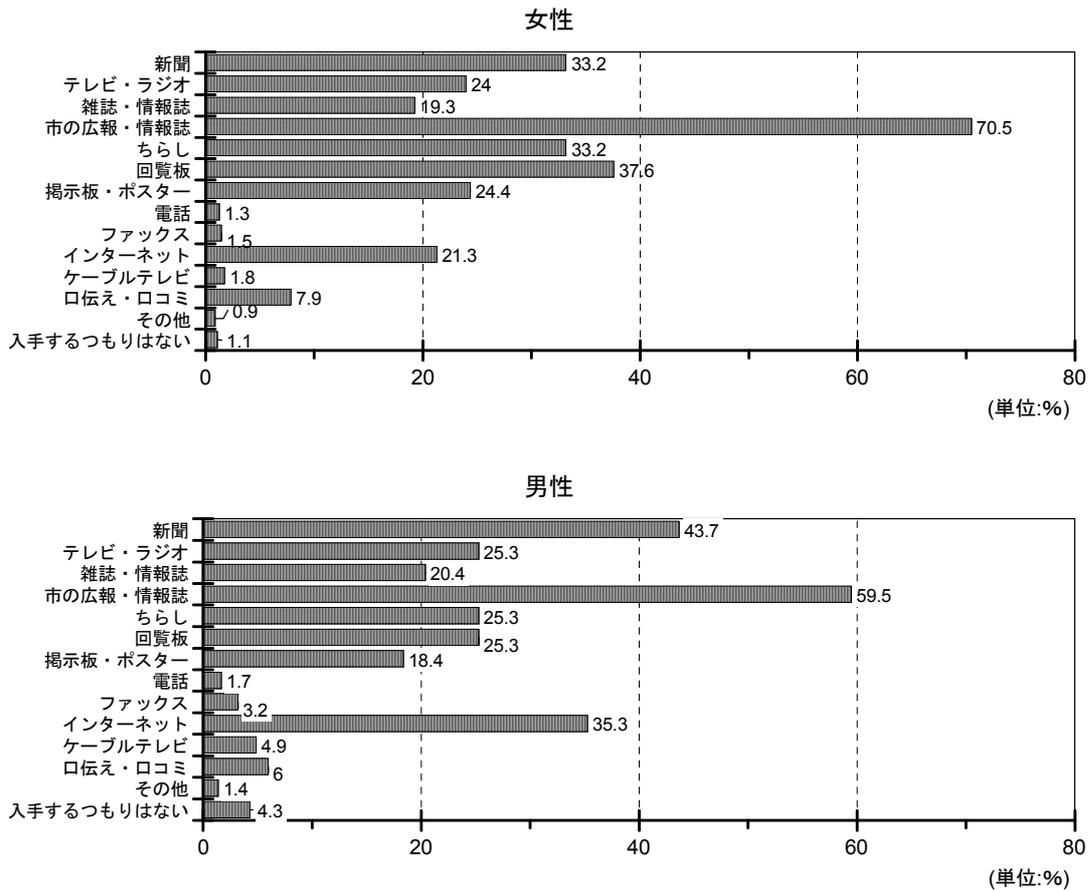


図 36 性別にみた生涯学習情報の入手方法のニーズ

次に年代別にみたのが、図 37 である。

その結果、まず「成人前期」の人では、「インターネット」をあげた人の率が高くて、次いで「市の広報・情報誌」、「ちらし」の順となっていた。一方、「成人中・後期」の人では「市の広報・情報誌」をあげた人の率が高く、次いで「新聞」、「回覧板」の順となっていた。

相対的にみると、「ちらし」と「インターネット」では「成人前期」の人の、「雑誌・情報誌」では「成人前・中期」の人の、「新聞」、「テレビ・ラジオ」、「市の広報誌・情報誌」、「回覧板」では「成人中・後期」の人の率が高くなっていた。

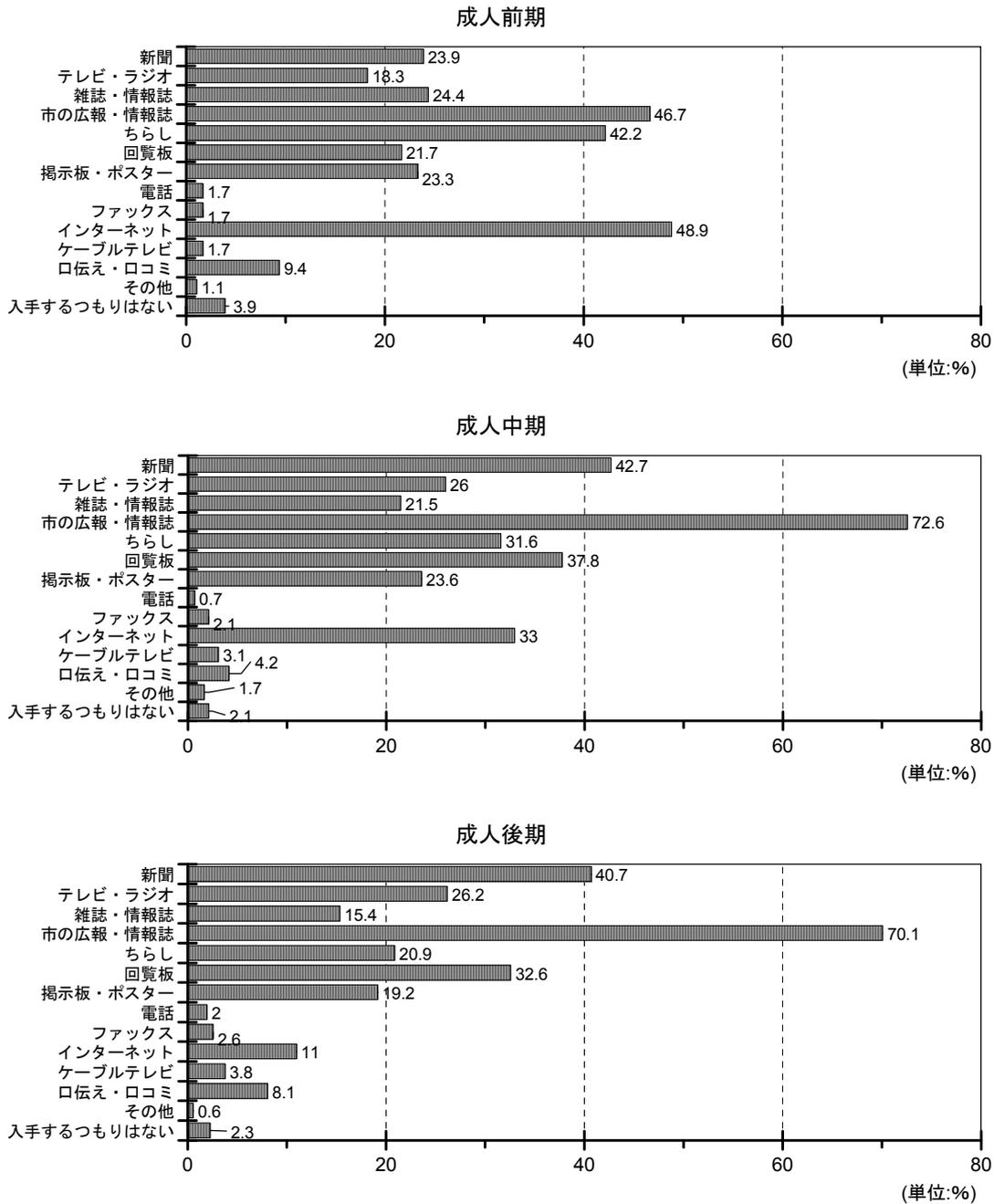


図 37 年代別にみた生涯学習情報の入手方法のニーズ

2) 日頃必要だと思う生涯学習情報

回答者が、日頃必要だと思う生涯学習情報をみたのが、図 38 である。

その結果、必要だと思う情報としては、「講座や教室などの案内の情報」をあげた人の率が 65.0% でもっとも高く、次いで「学習のために利用できる施設についての情報 (44.6%)」、「地域の学習グループやサークルについての情報 (38.7%)」の順となっていた。

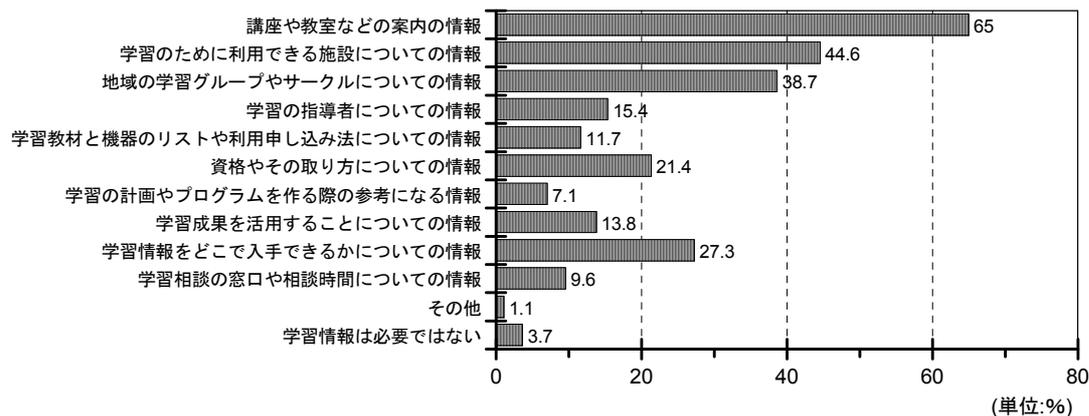


図 38 日頃必要だと思う生涯学習情報

これを性別にみたのが、図 39 である。

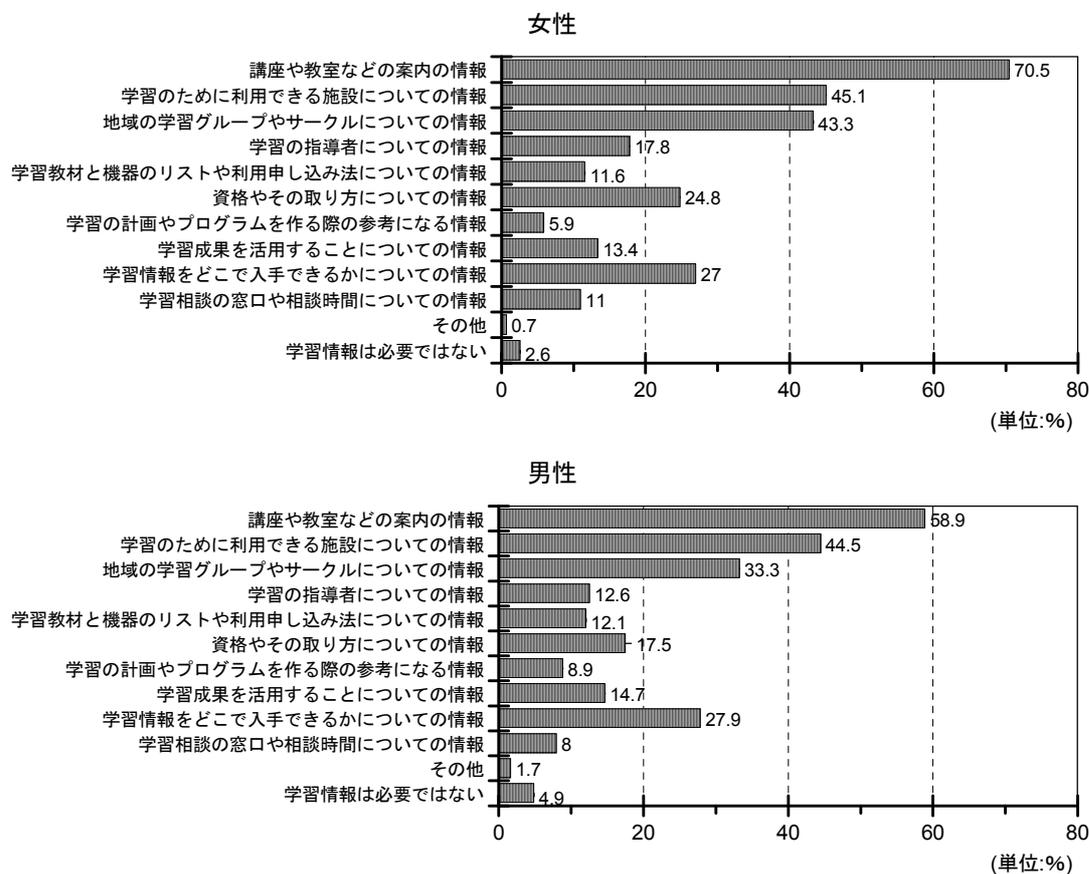


図 39 性別にみた日頃必要だと思う生涯学習情報

その結果、男女とも「講座や教室などの案内の情報」をあげた人の率もっとも高く、次いで「学習のために利用できる施設についての情報」、「地域の学習グループやサークルについての情報」の順となっていた。

相対的にみると、「講座や教室などの案内の情報」、「地域の学習グループやサークルについての情報」、「資格やその取り方についての情報」では「女性」の率が高くなっていた。

次に年代別にみたのが、図 40 である。

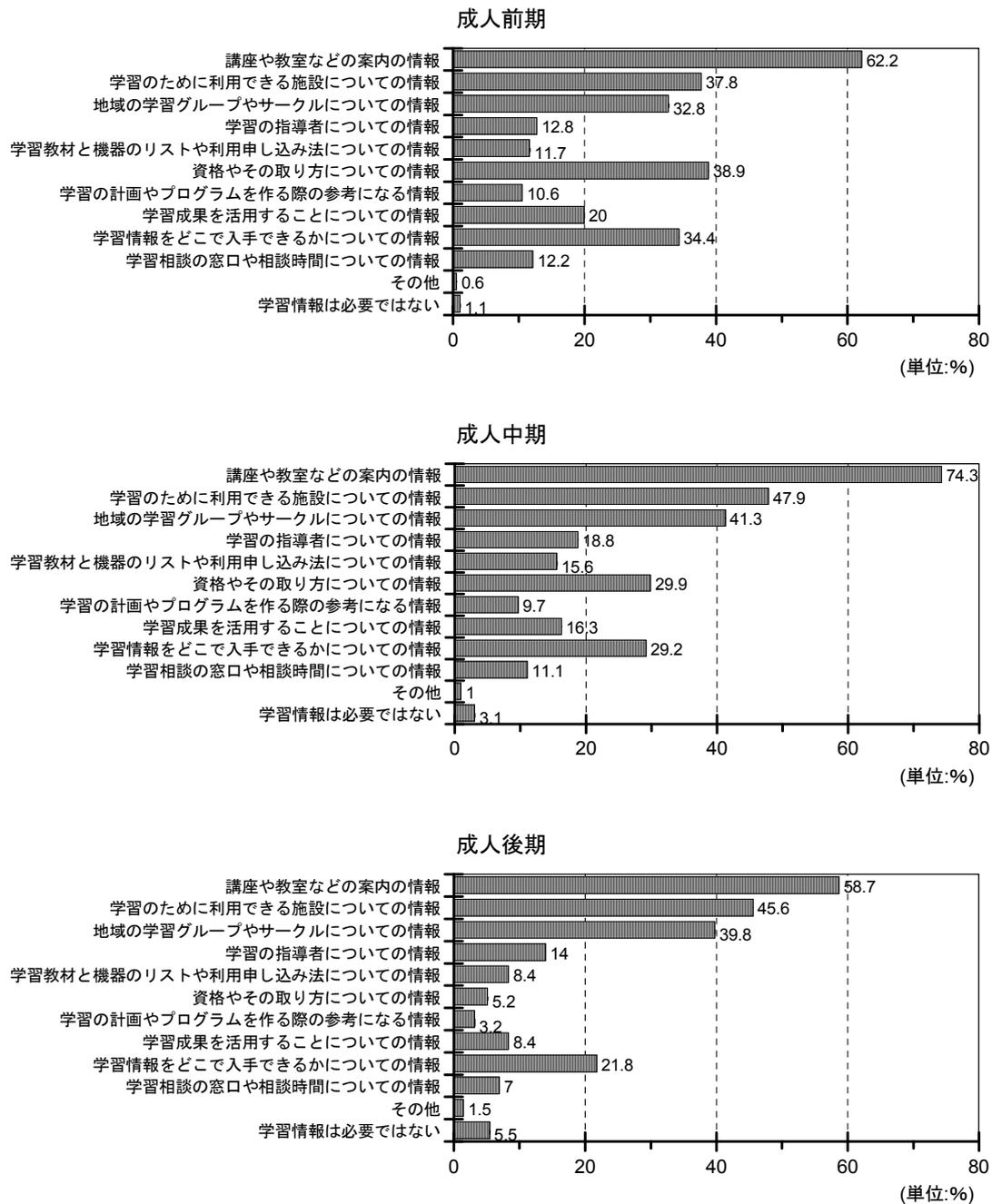


図 40 年代別にみた日頃必要だと思う生涯学習情報

その結果、すべての年代で「講座や教室などの案内の情報」をあげた人の率が高かったことは共通していたが、次いで「成人前期」の人では「資格やその取り方についての情報」、「学習のために利用できる施設についての情報」の順、「成人中・後期」の人では「学習のために利用できる施設についての情報」、「地域の学習グループやサークルについての情報」の順となっていた。

相対的にみると、「資格やその取り方についての情報」と「学習情報をどこで入手できるかについての情報」では「成人前期」の人の、「講座や教室などの案内の情報」では「成人中期」の人の、「学習のために利用できる施設についての情報」と「地域の学習グループやサークルについての情報」では「成人中・後期」の人の率が高くなっていた。